

教科名 (科目名)	情報 情報Ⅱ	履修学年	3 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

情報社会の中では、どのような職業であっても、より実践的な知識やスキル、さらに課題を解決する能力が必要とされることから、従来の大学・専門学校等でなければ学べない内容を情報Ⅱで学習することにより、進路先での学習や研究に際して、どの分野においても十分な準備ができる。また、情報を単に消費・発信する側から創造・創生する側としての活動を通じて、集団や組織の中で情報社会に参画でき、自在に情報活用・分析・発信ができ、価値創造に至ることができる。

- ①情報技術の適切かつ効果的な取り扱い
- ②ウェブコンテンツ (電子書籍) 制作やデータの活用技能の習得
- ③AIの活用と人との関わりへの理解の深化
- ④プログラミングによる情報システムの構築

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めている。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価・改善し新たな価値を創造しようとしている。
評価方法	○単元テスト ○実技・演習	○単元テスト ○実技・演習 ○提出物	○単元テスト ○発表・レポート ○授業態度・提出物

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB BBC (ACC)	3
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

- 【教科書】情報Ⅱ (実教出版)
- 【参考書】情報Ⅱ 学習ノート (実教出版)
- 【デジタルクラフトツール】Colaboratory
- 【参考書】共通テスト プログラミングのITパス (実教出版)
- 【参考書】共通テスト対策問題集2027 (実教出版)
- 【参考書】2027共通テスト対策【実力完成】直前演習 情報Ⅰ (ベネッセ)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

- 教科書の内容を読み取り、学習ノートにまとめる活動を通して、知識・技能の定着を図り、適切に思考・判断・表現ができることを確認しながら進めます。
- 実技の授業においては、Colaboratoryやその他デジタルツールを利用して、原則としてペアで進めます。
- 電子書籍制作やデータサイエンスで分析する活動などを通じ、情報社会に具体的に参画する方法を学びます。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	第1章 情報社会 ・現代の情報社会と法制度 ・コミュニケーションとコンテンツ ・電子書籍制作 ・発表会	●情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解している。 ●文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けている。 ●データ活用やデータサイエンスが社会に果たす役割について理解している。	●コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察している。 ●情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、評価し改善することができる。 ●目的に応じて、適切なデータを収集し、整理し、整形することができる。	●情報社会における問題の発見・解決を通して情報社会の発展に寄与しようとしている。 ●目的や状況に応じて制作したコンテンツを適切かつ効果的に発信しようとしている。
	5月				
	6月				
	7月	第2章 データサイエンス ・データの扱い方と統計的推測 ・機械学習と分析・評価			
2 学期	8月	第3章 プログラミング言語 ・JavaScript ・Pythonとモジュール 第4章 情報システム ・システムの分類と開発形態 ・Webシステムとデータベース （SCコース） （SCコース以外） ・電子書籍検索 システムの構築 ・大学入試共通テスト向け演習	●情報システムを構成するプログラムを制作する方法について理解し技能を身に付けている。 ●情報システムの設計を表記する方法、設計、実装、テスト、運用等のソフトウェア開発のプロセスとプロジェクトマネジメントについて理解している。	●情報システム及びそれによって提供されるサービスについて、その在り方や社会に果たす役割と及ぼす影響について考察している。 ●情報システムを構成するプログラムを制作し、その過程を評価し改善することができる。	●情報システムの設計とプロトタイプに関わり、自分なりの新しい考え方や捉え方によって粘り強く解決策を構想しようとしている。 ●情報セキュリティなどに配慮して安全で適切な情報システムの制作を通して情報社会に主体的に参画しようとする。
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
3 学期	1月	・発表会	●情報の科学的な見方・考え方を働かせて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識・技能を自ら深めている。	●情報の科学的な見方・考え方を働かせて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための思考力、判断力、表現力を自ら向上させている。	●情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する活動を通して、新たな価値を創造しようしたり、情報社会の発展に寄与しようとしている。
	2月				
	3月				